

福島県とのドクターヘリ広域連携について

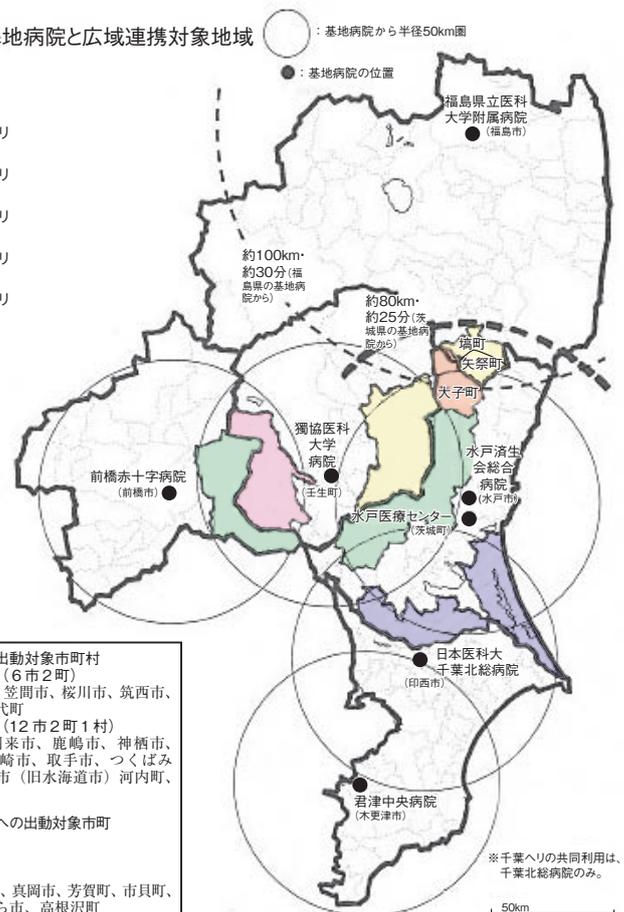


茨城県では、平成22年7月からドクターヘリ1機を導入し運用するとともに、北関東三県連携や、千葉県ドクターヘリ共同利用など隣県との連携にも取り組んでいます。

こうした中、今回、新たに福島県とドクターヘリ広域連携を6月1日から開始しました。今回の福島県との広域連携は、茨城県大子町と福島県矢祭町・塙町において両県のドクターヘリを相互利用するもので、要請が重複し茨城県のドクターヘリが出動できない場合や多数傷病者が発生してドクターヘリの応援が必要な場合に福島県のドクターヘリを要請することができるようになりました。大子町は、平成25年度のドクターヘリの出動要請件数（204件）で県内第5位、人口1万人当たりの運航件数は県内第1位で、重複要請によってドクターヘリが未出動となることもありましたが、今回の福島県との広域連携によって、救命率の向上等が一層図られるものと期待されます。

基地病院と広域連携対象地域

- 出動対象地域
- ：茨城県ドクターヘリ
 - ：福島県ドクターヘリ
 - ：栃木県ドクターヘリ
 - ：群馬県ドクターヘリ
 - ：千葉県ドクターヘリ



「循環器内科は、ダイナミックな科。治療法が開発されて日々進歩しているので、今後も治してあげられる病態というのが、どんどん広がっていくのが魅力です」～循環器内科医からのメッセージ

人口15万人のひたちなか市唯一の総合病院であり、地域の基幹病院として主に急性期医療、高度専門医療を担う「ひたちなか総合病院」の山内孝義先生に、循環器専門医の仕事についてお話をうかがいました。

…先生の現在までの経歴をお聞かせください。

山内 出身は神奈川県鎌倉市で、海のそばで育ちました。昭和55年に筑波大学医学専門学群に入学し、そこから茨城との関わりが始まり、もう35年になります。卒業後は筑波大学附属病院内科に勤務し、その後循環器内科の医局に所属して平成6年4月から日立製作所水戸総合病院（現ひたちなか総合病院）の内科医長、平成19年に副院長になり現在に至っています。

…循環器内科に進まれたきっかけは？

山内 昔の大学病院のメジャーなキャリアパスだったのは、出身大学の医局に残るといったことだったので、私も筑波大のレジデントをやっていました。当時の大学病院の内科の患者さんというのは、他では治せない難治性の患者さんや、悪性腫瘍の患者さんが多く、抗がん剤も現代のようには効果がなかったのに単に延命しているか、逆に悪くしているような患者さんも多いと感じました。頭では、そういう治療は科学として必要だと理解していたつもりですが、実際に目の前の患者さんを相手にしなくてはいけないので、葛藤がいろいろありました。

そういう思いをして、葛藤している時に市中病院の救急病院にローテーションになりました。30年ぐらい前ですから、医者の数も少ないし、ほとんど毎日泊まらなくてはならないような状況でものすごく忙しかったのですが、一番インパクト

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院
副院長 循環器専門医 内科指導医 **山内孝義**
東京医科歯科大学医学部臨床教授 筑波大学医学群臨床教授



があったのは、壮年の患者さんが心肺停止で来て、急性心筋梗塞に心室細動を伴っている人だったのですが、胸骨圧迫をしたり、電気的除細動したりして、自己心拍に戻してカテをやって、最終的には歩いて帰ったのです。それを見て、命を助けた気持ちになり、ご本人もご家族も喜んで大変感謝していただいて、医者としての喜びも持ちましたし、循環器科というのもいいなと思いました。そういうことが何回かあったので、循環器科を志そうということになったのです。非常に、動機的には単純なのです（笑）。

●責任もあるが、やりがいがあるのが循環器内科。

…循環器内科のやりがいは？

山内 どの科でもそうだと思いますが、特に循環器科というのは、心臓を扱わせていただく科なので、人の生死にかなり密接に関係すると思うので、そういう意味で責任とやりがいがあります。急性心筋梗塞、致死性不整脈など循環器疾患そ

のものが重症になりやすいですし、その他の疾患に伴う様々な重症な病態でも、とりえず循環動態を安定させられれば、治してあげられるチャンスが増えるので、そういった意味で非常に頼りにされて、かつ人助けもある程度できてお役に立てるといえるのは、やりがいですね。心機能の悪い患者さんの生活の質を上げてあげるのも、やりがいです。

●若い医師を少しずつ育てていかないと未来はない。

…先生が今後目指していかれるものは？

山内 一つは、皆で協力して若い人を育てていきたいということがあります。私は神の手を持っているわけでもなく、天才というわけでもなく、ごく普通の循環器内科医です。でも学生さんを見ていても、ごく普通の人というのはマジョリティだから、そういう人たちが30年やっていくとどうなるか、私は30年循環器医をやっていますから参考になると思います。たともっと優れた人であっても、神の手を持つ人だとしても、70歳でバリバリできるということは少ないと思うのですよ。特に循環器は技術の科だから、だんだん目も見えなくなってくるし難しくなる。若い人を少しずつ育てていかないと未来はないのですよ。それは何科でもそうだと思います。茨城もそうだと思います。若い人に入ってもらい、地域医療に尽くしてもらえれば十分だと、地域のひとか患者さんに役に立つ人になればいい。茨城でなくても、お困りのところはありますから、そこで活躍して欲しい。そして大きな流れでまた茨城に戻ってくるとか、そういう人がうちの病院にも結構いるので、一つのところで完結して教育をしていく必要はないのです。それぞれの人が目指すところは違うわけだし、だからこそみんな留学したりするわけですから。うちの病院も筑波大学と一緒に後期研修していますし、国内留学できるように、VHJ機構病院（手稲溪仁会病院、亀

田総合病院、洛和会音羽病院、倉敷中央病院など）といっしょに後期研修制度をつくったりしています。そういう大きな視点で、今後もやっていきたいということと、まだこの地域は本当に医者が少ないので、もう少し増やして皆が困らないようにしていきたいなと思っています。人が増えたら増えたでまた調整が大変ですが、ベクトルが拡散しないように、地域医療を支えるという点では同じ方向が向けるようにやっていければいいかなと思っています。

●まじめに取り組めば、自分に合う分野が見つけれられるのが循環器内科。

…若手の医師や医学生に向けてメッセージをお願いします。

山内 その人が与えられた場所でベストを尽くして働くことが、一番大事だと思います。そこできちんと一生懸命やっていたら、必ず道は開けてくるものだと思います。循環器は他に比べて患者さんが急変したり、治療に対する反応が速かったりダイナミックな科だと思います。今でも患者さんはすごく多いのですが、高齢化するわけですから、これからはどんどん増えると思います。さらに、私が医師になってからもいろんな治療法が開発されて循環器診療はどんどん進歩しています。今後も治してあげられる病態というのが、どんどん広がっていくのが魅力だと思います。

循環器と一言と言っても広くて、私は虚血とか運動生理学が専門ですが、その方法論も多様で、その他にも不整脈、弁膜症、心筋症など沢山の分野があり、幅が広くて奥が深いので、外科のようなダイナミックさを求めてくる人も、じっくりと心臓の機能を見たいという人もまじめに取り組めば、どんな人でも自分に合う分野というのが見つけれられるのが循環器内科なのではないかと思っています。他の科もそうかもしれませんが、特に循環器は深くて広いと思いますので、是非、循環器内科を目指して欲しいです。

病院紹介コーナー



つくばセントラル病院

当院は、昭和63年12月に県南地区の牛久市に開設された、313床の病院です。

平成25年10月には社会医療法人の認定を受け、公的病院としての機能を担っています。

「一人の人を大切にす慈愛の医療と福祉活動に徹する」を法人理念とし、地域のニーズに応えるべく、急性期病棟だけでなく、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を開設しております。

研修プログラムは、様々な患者さんを通してプライマリケアを中心に、臨床能力を養える様に工夫しています。

また、当院では選択科目を多くしており、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院等と協力型の連携をし、多くの診療科目を組み合わせることのできる自由



度の高い選択研修を用意しています。

各診療科間の連携は良好で、垣根が低く、どの医師にも気軽に相談できます。

医師として最も重要な初めの2年間に効率的で充実した研修が行えるよう、出来る限りのお手伝いをさせていただきます。

当院での研修に少しでも興味を持って頂けたら、遠慮なく病院見学にいらしてください。(医局長 石津 隆)

Relay Essay 研修医リレーエッセイ

JAとりで総合医療センター
初期臨床研修医 **大下 格**



私は山口大学医学部を卒業し、2013年4月からJAとりで総合医療センターで初期研修をしています。当院で初期研修をして良かったことは、教育熱心な先生が多く、若手の先生も多いため、ほんの些細なことでも質問しやすい環境であること、コメディカルの方々も優しく積極的に対応してくれるので、医業を学ぶことに専念することができるとです。

当院では救急外来の当直が月に5回程度あります。上級医とマンツーマンで診療にあたり、症例ごとに上級医のフィードバックが必ずあるため、自分に足りない点を再確認することができます。また、年間千症例程度診察するため、common diseaseのかかなりの部分は経験でき、自信を持って対応できるようになると思います。

初期研修病院を選ぶときのポイントを1つ挙げるとしたら、コメディカル、事務方を含めたスタッフ全員が研修医の教育に理解があり、実際に研修医の満足度が高い環境が整っていることではないでしょうか。その環境がJAとりで総合医療センターにはあります。当院に興味を持った方がいらっしやいましたら、ぜひ見学にきてください。

初期臨床病院説明会 レジナビフェアのお知らせ

全国各地から多数の病院が集まる“レジナビフェア”が開催されます。

7月20日(日)に東京で開催される医学生向けの“初期研修フェア”には茨城県からも以下の病院が参加します。一度にたくさんの情報を収集することができますので、ぜひご参加ください。(主催:メディカルプリンシプル社)

いばらき合同ブース出展予定 9病院

- 水戸赤十字病院 (水戸市)
- 水戸済生会総合病院 (水戸市)
- 国立病院機構水戸医療センター (茨城町)
- 茨城県立中央病院 (笠間市)
- 株式会社日立製作所日立総合病院 (日立市)
- 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 (ひたちなか市)
- 総合病院牛久愛和総合病院 (牛久市)
- J Aとりで総合医療センター (取手市)



単独ブース出展予定 4病院

- 筑波大学附属病院 (つくば市)
- 筑波メディカルセンター病院 (つくば市)
- 筑波記念病院 (つくば市)
- 東京医科大学茨城医療センター【東京医科大学合同ブース】(阿見町)

詳しい情報はこちらをご覧ください。 <http://www.residentnavi.com/index.php>

茨城県からのお知らせ

地域枠設置大学・自治医科大学進学を希望する受験生・保護者向け説明会

医学部進学を希望する受験生や保護者を対象とした説明会を開催します。

茨城県地域枠・修学資金などの制度説明のほか、地域枠設置大学や自治医科大学からの大学紹介もあります。

開催日時	平成26年8月5日(火) 9:00～
開催場所	茨城県総合福祉会館(茨城県水戸市千波町1918) コミュニティホール
参加大学	筑波大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・杏林大学・北里大学・自治医科大学
内容	修学資金貸与制度の概要、地域医療支援センター、各大学からのプレゼンテーション等

茨城県地域医療支援センター

茨城県水戸市笠原町978番6(保健福祉部医療対策課内) TEL:029(301)3191

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/isei/ishikakuho/top/index.html> E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp